

バレエ音楽エレクトーンで

佐賀市の作曲家でエレクトーン奏者久米詔子さんが、クラシックバレエ「ジゼル」全2幕の音楽をエレクトーン用にアレンジした。久留米市のバレエ団「アサバレエアカデミア」が14日、久留米市民会館で上演する。エレクトーン演奏でのバレエ公演は珍しいといわれ、当日は久米さんが演奏も行う。

「ジゼル」は「白鳥の湖」などと並ぶ古典バレエの名作。アサバレエ団では14年ぶりの再演となる。久米さんは、アドルフ・アダン作のオーケストラ用の曲を熊本県在住のエレクトーン奏者柳享子さんと分担し、アレンジした。694ページのオーケストラの楽譜から弦や木管、金管楽器のパートごとに1音ずつ再現。振り付けの都合で原曲にない部分や省略されたところもあり「楽譜にない部分は、14年前のテープから音を取っ

久米さん14日披露 久留米



「オーケストラの音をエレクトーンに置き換えるのが大変だった」と話す久米詔子さん＝佐賀市の自宅

た」と苦労も絶えなかったという。

公演には、佐賀市の杉町バレエ学園の武藤顕三さん、松尾喜一さんが賛助出演するほか、パーカッショ

ンに関家真一郎さんも加わり舞台を盛り上げる。久米さんは「出演者が踊りやすいような演奏を心がけた」と話している。

(石井)

▷「ジゼル」公演は14日午後2時から。チケットはA席5000円、B席4500円、自由席4000円。問い合わせはアサバレエスタジオ、電話0942(39)5337へ。

県内文化